



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	盛田 和弘 様 店舗付共同住宅新築工事	階数	地上6F
建設地	横浜市鶴見区栄町通1丁目10番15,10番16	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、第6種高度地区、準防火地域	平均居住人員	35 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,飲食店,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年6月 予定	評価の実施日	2021年9月7日
敷地面積	587 m ²	作成者	金子嵩宜
建築面積	400 m ²	確認日	2021年9月8日
延床面積	1,977 m ²	確認者	工藤栄

外観パース等

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境 (スコア: 2.9)
Q2 サービス性能 (スコア: 3.1)
Q3 室外環境 (敷地内) (スコア: 1.3)
LR1 エネルギー (スコア: 3.2)
LR2 資源・マテリアル (スコア: 2.7)
LR3 敷地外環境 (スコア: 2.6)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 2.9)

Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 3.1)

Q3 室外環境 (敷地内) (Q3のスコア= 1.3)

LR のスコア = 2.9

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 3.2)

LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 2.7)

LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 2.6)

3 設計上の配慮事項		
総合 潜熱回収型給湯器やLED照明など高効率設備機器の導入や、更新間隔の長い建材を使用し長期的な運用を目指した設計とした	その他 特になし	
Q1 室内環境 カーテンレール・庇を組み合わせグレア対策を行っている	Q2 サービス性能 更新間隔の長い建材を使用し、建物の維持管理に配慮した設計とした	Q3 室外環境 (敷地内) 防犯カメラやオートロックの設置をし、防犯性に配慮した設計とした【9/24変更しました】
LR1 エネルギー [BEI]=0.95	LR2 資源・マテリアル 躯体+軽鉄+仕上材のテイルを採用した	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して95%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



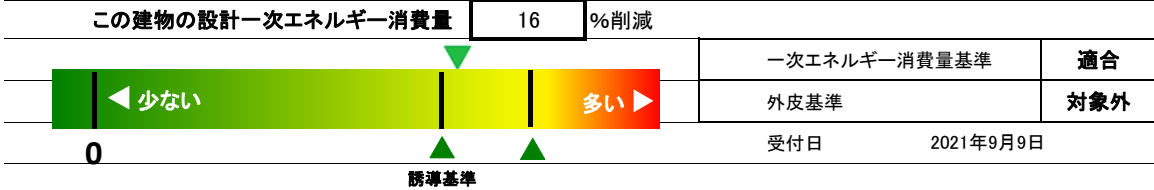
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **盛田 和弘 様 店舗付共同住宅新築工事**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **2**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

- ①(住宅部)過半数住戸の外皮性能が等級④以上
- ③(住宅部)設備システムの高効率化: LED照明や潜熱回収型給湯器など高効率設備を設置

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 **2**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

- ⑰コンクリート打放し補修の上吹付タイル(フッ素樹脂系)耐用年数30年

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **1**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入	



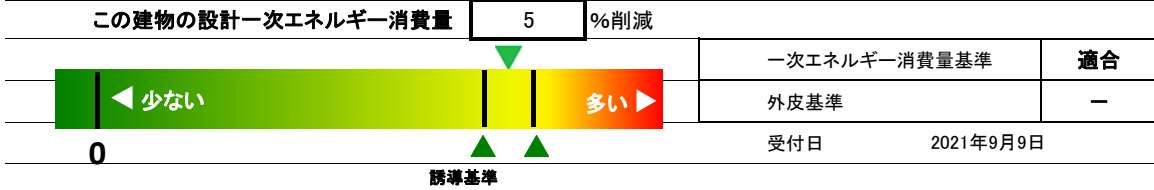
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **盛田 和弘 様 店舗付共同住宅新築工事**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 2**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①(住宅部)過半数住戸の外皮性能が等級④以上

③(住宅部)設備システムの高効率化: LED照明や潜熱回収型給湯器など高効率設備を設置

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【健康・安心】 3**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防 災】 3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯コンクリート打放し補修の上吹付タイル(フッ素樹脂系)耐用年数30年

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 1**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
—	
エネルギーマネジメントシステム導入	
— — —	



CASBEE横浜2017年版v.1.7
 盛田 和弘 様 店舗付共同住宅新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									2.4
Q1 室内環境						0.40			2.9
1 音環境					3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 騒音					3.0	0.49	3.0	0.50	-
1.2 遮音					3.0	0.49	3.0	0.50	-
1 開口部遮音性能					3.0	0.98	3.0	0.30	-
2 界壁遮音性能					3.0	0.02	3.0	0.30	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					3.0	-	3.0	0.20	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					3.0	-	3.0	0.20	-
1.3 吸音					3.0	0.03	-	-	-
2 温熱環境					3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御					3.0	0.50	3.0	0.50	-
1 室温					快適・働きやすさ	0.61	3.0	0.63	-
2 外皮性能					快適・働きやすさ 健康・安心	0.35	3.0	0.38	-
3 ソーン別制御性					快適・働きやすさ	0.04	-	-	-
2.2 湿度制御					快適・働きやすさ	0.20	3.0	0.20	-
2.3 空調方式					快適・働きやすさ	0.30	3.0	0.30	-
3 光・視環境					1.5	0.25	3.2	1.00	2.7
3.1 昼光利用					1.9	0.35	2.9	0.30	-
1 昼光率					快適・働きやすさ	0.52	4.0	0.50	-
2 方位別開口					快適・働きやすさ	-	1.0	0.30	-
3 昼光利用設備					快適・働きやすさ	0.48	3.0	0.20	-
3.2 グレア対策					1.0	0.26	4.0	0.30	-
1 昼光制御					快適・働きやすさ	1.00	4.0	1.00	-
3.3 照度					快適・働きやすさ	0.13	3.0	0.15	-
3.4 照明制御					快適・働きやすさ	0.26	3.0	0.25	-
4 空気環境					2.6	0.25	3.1	1.00	2.9
4.1 発生源対策					3.0	0.59	3.0	0.63	-
1 化学汚染物質					快適・働きやすさ	1.00	3.0	1.00	-
4.2 換気					2.0	0.39	3.3	0.38	-
1 換気量					快適・働きやすさ	0.50	3.0	0.33	-
2 自然換気性能					快適・働きやすさ	-	4.0	0.33	-
3 取り入れ外気への配慮					快適・働きやすさ	0.50	3.0	0.33	-
4.3 運用管理					3.0	0.03	-	-	-
1 CO ₂ の監視					快適・働きやすさ	0.50	-	-	-
2 喫煙の制御					快適・働きやすさ	0.50	-	-	-
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.1
1 機能性					2.4	0.40	3.6	1.00	3.2
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	4.0	0.60	-
1 広さ・収納性					快適・働きやすさ	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応					快適・働きやすさ	-	4.0	1.00	-
3 バリアフリー計画					快適・働きやすさ	1.00	-	-	-
1.2 心理性・快適性					1.1	0.30	3.0	0.40	-
1 広さ感・景観					快適・働きやすさ	0.05	3.0	0.50	-
2 リフレッシュスペース					快適・働きやすさ	0.03	-	-	-
3 内装計画					快適・働きやすさ	0.92	3.0	0.50	-
1.3 維持管理					3.0	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計					快適・働きやすさ	0.50	-	-	-
2 維持管理用機能の確保					快適・働きやすさ	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性					3.0	0.30	-	-	3.0
2.1 耐震・免震					3.0	0.50	-	-	-
1 耐震性					防災	0.80	-	-	-
2 免震・制振性能					防災	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数					3.3	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数					防災	0.20	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					防災	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					防災	0.10	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					防災	0.10	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					防災	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔					防災	0.20	-	-	-
2.4 信頼性					2.8	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備					防災	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備					防災	0.20	-	-	-
3 電気設備					防災	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法					防災	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備					防災	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性					3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり					4.2	0.04	3.2	0.50	-
1 階高のゆとり					5.0	0.60	4.0	0.60	-
2 空間の形状・自由さ					3.0	0.40	2.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.04	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性					3.0	0.92	-	-	-
1 空調配管の更新性					3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性					3.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性					3.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性					3.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性					3.0	0.20	-	-	-
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.20	-	-	-



CASBEE横浜2017年版v.1.7
 盛田 和弘 様 店舗付共同住宅新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
		Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		1.0	0.40	-	-	1.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑫地域性への配慮		2.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑬敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	2.9
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		3.6	0.20	-	-	3.6
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		2.1	0.10	-	-	2.1
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		3.4	0.50	-	-	3.4
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	0.13	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価				3.0	0.87	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	2.7
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水				3.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.11	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				1.0	0.22	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.22	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				2.7	0.20	-	-	2.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				2.6	0.70	-	-	-
1 消火剤				2.0	0.33	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.33	-	-	-
3 冷媒				3.0	0.33	-	-	-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	2.6
1 地球温暖化への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
2 地域環境への配慮				1.8	0.33	-	-	1.8
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				1.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.5	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-
2 污水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮				2.8	0.33	-	-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-
1 騒音				3.0	0.33	-	-	-
2 振動				3.0	0.33	-	-	-
3 悪臭				3.0	0.33	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制				1.0	-	-	-	-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制				2.3	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				2.0	0.70	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-
上記以外の重点項目					-	-	-	-
<事務用途>					-	-	-	-
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		-	-	-	-	-
<住宅用途>					-	-	-	-
健康と安心					-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策		3.0	-	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策		3.0	-	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策		3.0	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策		4.0	-	-	-	-